

クラス道徳

「やっぱり樹里は」

あらすじ

何でもはっきりと言う樹里。始めは、私もみんなも「かっこいい」と思っていた。しかし、クラスの子や先輩たちに遠慮せずに何でも言う姿を見ているうちに「面倒な子」「生意気な子」というものになっていった。私も徐々に樹里と距離を置くようになった。

ある日の夕方、私はコンビニに買い物に行った。レジの前でおばさんと店員さんがもめていた。おばさんはイライラしている様子で、商品の場所を聞いていた。店員さんはいつもニコニコとした笑顔で対応してくれる人だった。名札を見ると、外国の人のような人だった。おばさんは「日本語も店のこともわからないんですよ。」と言った。そこに樹里の声がした。樹里はおばさんにはっきりともの言っていると、おばさんは店員さんに謝り、店を出ていった。樹里の後ろ姿を見て、私は「やっぱり、樹里はかっこいい。」と思った。



自分が樹里の立場なら
どうしただろう？

見ているだけの「私」の
立場なら、どんな気持ち
で見ているだろう？



「やっぱり
樹里は
かっこいい。」

どうして、やっぱり樹里が
かっこいいと

思えたのだろうか？

樹里が大切にしているものとは
何だろうか？

みんながそれぞれ大切にしている事とは
何だろうか？

＜みんなの感想＞

- ・樹里のとり行動は本当に立派ですごいなーと思いました。自分の意見をはっきり伝えたり、自分から率先してすることは、私たちでもできるから自分の意見をしっかりとつことは大切だと思いました。私も自分の意見をしっかりとって人に流されないようにしたいです。(Rさん)
- ・今日の授業で思ったことは、自分も間違いだと思うことは意見しようと思ったし、樹里のような正義感をもつ人が増えていけば人のことをとやかく言う人もいなくなるのではないかなと思いました。(Uくん)
- ・この話で樹里がしていたことは、全て「自分のため」ではなく「みんなのため」にしていたんだと思いました。私も相手に流され、自分の意見を言えないことがあります。でも、やっぱり自分の意見を持ち、相手に言うことで相手も得られることがあると思います。これで自分も相手もいい気持ちになると思います。(Hさん)
- ・正義感が強い人を「生意気な子」と思うのは分かるけど、ひそひそとみんなで言うのはダメだと思った。自分も正義感を強くもって生きていきたいと思った。(Kさん)
- ・周りに合わせて意見を言わないんじゃないかと、おかしいと思ったらしっかり言うことができることは大切だと思った。行動に移そうと思っていてもできなかったではなくて、行動に移せる人になりたいです。(Nさん)
- ・自分の意見を誰に対しても堂々と言えるのはすごいと思う。自分もこんなふうになればいいと思った。(Sくん)
- ・いろんなことにちょっとずつ挑戦すると勇気がついていくのかなと思った。樹里みたいにはっきり言える人は少数派なのかもしれないけど、それが多数派になったら、周りもかわっていっためなことはダメだと言えることが当たり前になると思いました。(Fさん)
- ・今日の授業で、遠慮せずにものを言っている時と悪い時があると思う。誰かが困っているときに言うのはいいと思うけど、みんながそれでいい時に言ってしまうのは違うような気がする。だから良い時と悪い時があると思う。(Yくん)
- ・今日の授業でおもったことは、年齢に関係なく、自分の主張や意見などをもってハキハキとしゃべることは、いいことかもしれないと感じました。(Oくん)
- ・周りの目は厳しくなるかもしれないけど、誰にでも物言うのはすごい勇気もいるけど、それを堂々とできるのはすごいと思った。(Nさん)
- ・はっきり言えるのは良いことだと思うけど、人間関係で考えたら、自分は言えへんなと思った。私は樹里をカッコイイと思ったのに距離を置いたのは、巻き込まれたくないし、私まで生意気やと思われたくないからやと思った。自分やったらいちいち心配してられないし、関わるのが面倒くさくなってしまうと思う。(Sさん)
- ・私は部活などで話し合いをしている時には意見を言うことはできても、さすがに学校が終わって、コンビニやスーパーでそんなことが起きていても、そこで自分の意見をはっきりと言うことはできないなと思いました。でも樹里みたいにはっきりと言う人もすごいけど、空気を読んで周りの人に合わせることでできる人もすごいし、大切だと思いました。(Iさん)
- ・僕は自分が持つ意見は言えるけど、樹里は他人の良くない意見に「それはおかしい」と言えるのはすごいと思った。樹里はそういうのが自分の中で当たり前で普通と思っていることもすごいと思った。樹里は周りの人のためにも言っていると思った。やっぱり、友達の意見に流されずに自分の思っていることをはっきりと言う。(Uくん)